

SSC (Structural Skeleton Converter) シリーズ



梁貫通孔設置可能範囲
自動表示ツール

SSC-

梁貫通孔設置範囲

for Revit

 AUTODESK
Authorized Developer

Revit 対応版

梁貫通孔設置可能範囲自動表示ツール

SSC-梁貫通孔設置範囲 for Revit

特長

「SSC-梁貫通孔設置範囲」は、Revit の構造躯体情報を元に、梁の貫通孔設置可能範囲、及び、設置不可範囲を自動で表示するプログラムです。Revitの外コマンドで、アドインメニューから起動することができます。「SSC-梁貫通孔設置範囲」は、各種の構造躯体モデルに対応するため、「プロパティ対応テーブル」を用いています。「プロパティ対応テーブル」を編集していただくことで、ご使用のファミリーのプロパティ情報と、「SSC-梁貫通孔設置範囲」で使用している変数とを対応させることができます。

対応済み躯体モデルデータ

以下の製品用のプロパティ対応テーブルは、インストール時にシステムに組み込まれています。

■「SSC-構造躯体変換 for Revit」(※) で変換したモデルデータ

対象部材

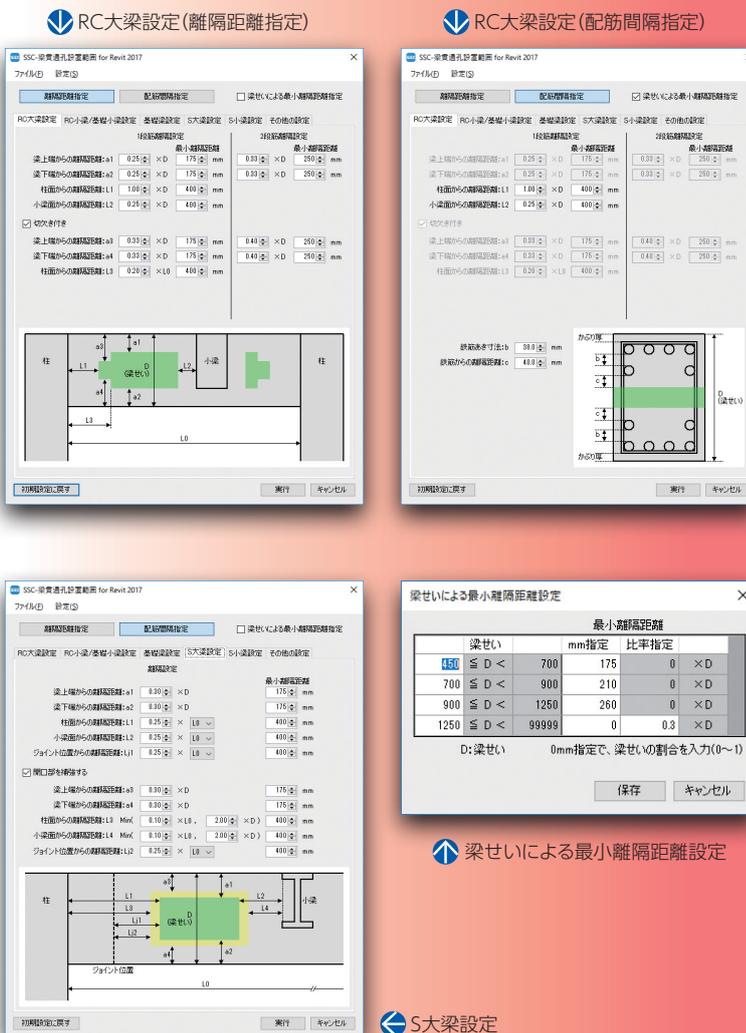
- 大梁(RC大梁/基礎梁/S大梁)
- 小梁(RC小梁/基礎小梁/S小梁)

設定機能

- RC大梁設定機能/基礎梁設定機能
 - ・梁貫通孔設置可能範囲の設定
 - ・「離隔距離指定(切り欠き設定)」,または、「配筋間隔指定」の設定可能
 - ・最小離隔距離は、梁せい毎の指定も可能
- RC小梁/基礎小梁設定機能
 - ・梁貫通孔設置可能範囲の設定
- S大梁設定機能
 - ・梁貫通孔設置可能範囲の設定、開口部を補強する場合の設定
 - ・ジョイント位置からの離隔距離設定
- S小梁設定機能
 - ・梁貫通孔設置可能範囲の設定、開口部を補強する場合の設定
- 継手位置設定機能
 - ・「詳細線分」を配置してコマンドを実行すると、S大梁に「継手位置オブジェクト」を自動生成します。

動作環境

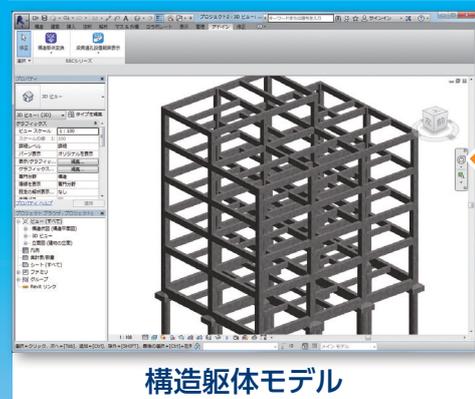
- OS: 64bit版 Microsoft Windows 10
- その他: Revit の動作環境に準ずる
- 認証方式: ネットワーク認証



梁せいによる最小離隔距離設定

S大梁設定

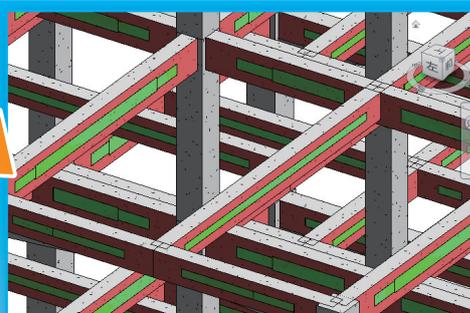
Revit



構造躯体モデル

「SSC-梁貫通孔設置範囲」
アドインコマンド

プロパティ
対応テーブル



梁貫通孔設置可能範囲
RC・S大梁/RC・S小梁/基礎梁・基礎小梁

お問い合わせは

株式会社 ソフトウェアセンター
〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-6-2 大和ビル6F
<https://www.scinc.co.jp/>

●本カタログに記載された内容は予告なく変更する事があります。
●Revit は、米国Autodesk Inc.の米国及びその他の国における商標または商標登録です。
※対応しているRevitのバージョンについては、お問い合わせください。